

(一社)九州観光推進機構 活動レポート

— 2015年3月号 —

2月のトピックス

○ 年間を通じた情報発信（フォトコンテスト表彰式の開催）（2月7日：中国広州）

中国広州において、広東省の国営メディア南方報業伝媒集団が主催した「第二回全世界華人フォトコンテスト」の表彰式に出席しました。会場には、中国各地有名カメラマン、撮影愛好者、マスコミ関係者など約250名が参加し、貴重なネットワーク構築の場となりました。

今回のフォトコンテストでは、当機構はスポンサーとなって九州をテーマにした写真を募集し、91件の応募がありました。応募写真の中から、九州観光推進機構特別賞を選定し、表彰式で発表しました。

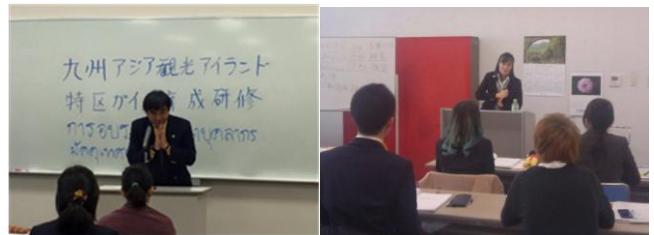
本コンテスト期間を通して、中国国内のみならず、世界各国の華僑に対して、新聞、雑誌、WEB、微信、コンテストイベントなどで九州について情報発信をすることができました。



○ 特区ガイド（タイ語）育成研修開催（2月7日：福岡市、2月9日：大分市）

タイは、ビザの発給要件緩和やLCC就航により、九州への入国者数は43,068人（2014年速報、対前年比190.4%）と増え、今後、九州への旅行需要の拡大が見込まれる有望市場です。タイからの訪日観光客のニーズにきめ細かく対応するため、九州において初となるタイ語の特区ガイド育成研修を、2月7日（土）に福岡（土・日クラス）で、また2月9日（月）には大分（平日クラス）で開始しました。

初日は「ホスピタリティ」等の研修を受講し、ガイドとしての立ち居振る舞い、おもてなしの心などを学びました。



○ 仙台空港600万人・5万トン実現サポーター会議にて事例発表（2月9日：宮城県仙台市）

宮城県仙台市において「第4回仙台空港600万人・5万トン実現サポーター会議」が開催されました。その中で当機構高橋本部長が九州における広域観光の取り組みについて事例発表を行いました。このサポーター会議は仙台空港の民営化に向けた機運醸成と情報発信等を行うために、平成25年5月に設立されました。第4回目となる今回の会議では東北再興に向け、観光を切り口に九州の事例を参考にしながら東北広域観光の展開をイメージしていくことを目的に開催されました。



○ ようこそコミュニケーションゼミナールにて講演（2月10日：熊本県菊池市）

熊本県菊池地域観光推進協議会主催の「平成26年度ようこそコミュニケーションゼミナール」が菊池地域振興局庁舎内で開催され、当機構企画部杉島次長・豊島次長が講師として参加しました。

菊池地域振興局エリア内（2市2町）の自治体・民間企業から43名の参加があり、杉島次長が「スポーツで地域活性化!～みんなが参加できる!地域資源を活用したスポーツツーリズムの推進～」というタイトルで講演を行いました。



九州はマラソン大会が年間200以上開催されるなど、スポーツへの取組が盛んになっています。第二部では豊島次長をファシリテーターに、ワークショップ形式のグループワークで対話を深め、広域でのスポーツによる地域活性化や観光振興及び交流人口増加に向けて活発な意見交換を行いました。



○ 海外向け観光ブログコンテスト「Kyushu Article Contest」表彰式の開催(2月12日:福岡市)

九州の認知度向上等を目的として、海外の方を対象としたブログコンテスト(簡体字、繁体字、英語)を開催しました。15の国と地域から、123件(英語31件、簡体字27件、繁体字65件)の投稿があり、審査の結果、各言語の大賞及び各県賞を決定し、表彰式を開催しました。

表彰式では、大賞受賞者の表彰に加え、運営に協力いただいた留学生の方々や優れた記事の投稿者を「九州観光サポーター」として認定し、代表者から九州観光の魅力や課題についてプレゼンを行っていただく等、対外的なPRの場としても活用しました。

投稿された記事はWEB上で公開し、九州観光の情報収集に活用されるとともに、九州観光サポーターについても積極的な活用場の検討するなど、今後の誘客施策に資する取組を実施する予定です。



○ 九州経済連合会鹿児島地域委員会にて講演(2月12日:鹿児島市)

九州経済連合会鹿児島地域委員会平成26年度第2回地域委員会が鹿児島市の城山観光ホテルにて開催され、その中で当機構高橋事業本部長が講演を行いました。

「九州の観光戦略と九州観光推進機構の取り組み」と題し、総合特区やボランティアガイド大会等これまでの機構の取り組みや第二期九州観光戦略に関して講演しました。

当日は鹿児島県の多くの経営者の皆様が集まられており、有望な成長戦略と言われる観光への関心度の高さを感じさせました。



○ 鉄道プロモーション事業(2月14日~15日:名古屋市)

名古屋の久屋大通公園にて、JR東海・JR西日本・JR九州と共催で観光物産イベント「ほっと@九州フェア」を開催しました。当機構ブースでは、九州各県の観光ブースをめぐってクイズ・アンケートに答えてプレゼントが当たる企画を実施しました。また、「明治日本の産業革命遺産」をはじめ、九州の世界遺産や世界遺産候補に関する展示やパンフレット配布を行い、多くのお客さまにPRしました。

- ・2日間合計来場者数 : 約6万人
- ・クイズラリー参加者 : 約2,500人



○ 九州観光案内所スタッフ研修会・連絡会議を開催(2月17日~18日:別府市)

別府商工会議所にて九州観光案内所スタッフ研修会・連絡会議を開催しました。この研修会は九州観光案内所整備支援事業の一環として、九州一体となった観光案内所の整備支援を図るために実施したものであり、今回で3回目になります。

当日は福岡空港国際観光案内所、福岡市観光案内所、別府駅総合観光案内所、鹿児島中央駅総合観光案内所のスタッフ及び案内所担当者15名が参加しました。まず、それぞれの案内所の現状や取り組み、

旬の情報の発表があり、第二部はワールドカフェ形式によるワークショップを実施しました。外国人入国者数が過去最高になる中、各観光案内所では多言語そして広域での案内情報を求められることが増えてきており、地域を超えた観光案内所間の連携に繋がる有意義な意見が多く出されました。

翌日は、別府駅総合観光案内所を視察した後、現地視察研修として明礬温泉から鉄輪温泉に回り、地獄めぐりなどを地元のボランティアガイドの方に案内して頂きました。



○ 添田町観光事業研修会にて講演(2月18日:福岡県添田町)

福岡県添田町で行われた観光事業研修会において、当機構企画部杉島次長が「おもてなしの本質について考える～これからの添田町地域活性化に向けて～」というタイトルで講演を行いました。ここでは、おじぎや挨拶といった接遇おもてなしの内容ではなく、来訪者のニーズを把握した対応の必要性和、受け入れ体制や地域連携の必要性についてお話ししました。

当日は寺西添田町長をはじめ、観光連盟、地場企業懇話会等から約50名の参加があり、参加された方からは「地域連携や地域活性化に向けた取り組みのきっかけづくりの場になった」との感想が出されました。



○ JALと特区ガイドに関する連携・協力協定を締結(2月18日)

「JAPAN PROJECT」など地域経済活性化を促すプロジェクトを展開されている日本航空(株)からのお申し出をいただき、2月18日に特区ガイドの人材育成とPRについて、同社と連携・協力協定を締結しました。特区ガイドにフォーカスした連携協力締結ははじめての取組となります。

共同リリースでは、協定の概要と、第1弾の取組として、3月18日に福岡市で開催されるスキルアップセミナーへ講師を派遣していただくことも併せて発表されました。

今回の連携協力協定を契機に、課題となっている特区ガイドの人材育成とPRの強化が図られることを期待しています。

○ TITF #16 出展(2月25日～3月1日:バンコク)

年2回(8月及び2月)開催されるタイ最大の一般消費者向けの旅行販売フェアに出展し、九州の豊富な観光資源をタイ国民に直接アピールしました。本フェアには、九州から10団体の企業や自治体が参加出展し、九州ストリートを作るなどして一体となったPRをすることができました。2014年6月からのジェットスター・アジア航空の福岡ーバンコク線就航以来、FIT層が九州へ訪れるようになり、九州ブースへ来る方々は非常に細やかな情報を求めています。九州が舞台となった人気テレビドラマ「K o l K i m o n o」が3月からの放送予定ということもあり、映画ロケ地に関する質問も多く、九州への訪問が爆発的に伸びることを予感した旅行博となりました。

また、会期中は、タイ旅行業協会(TTAA)と九州との連携を強める目的で、TTAA幹部6名と九州側25名との夕食会を主催。双方の意見交換・情報共有の良い機会となり、タイからの今後の更なる九州インバウンド強化に繋がったものと思います。



○ 第2回九州オルレモニターツアー第1陣（天草・維和島&天草・苓北コース）を実施

（2月27日～28日：上天草市、苓北町）

九州オルレモニターツアーは、第2回目となり38名の方々に参加いただきました。

初日の天草・維和島コースは、天候に恵まれ、上天草市の方の案内で天草四郎関係の名所旧跡、高山展望所、海岸の洗濯岩等を歩き、変化に富んだコースを楽しみました。その後、松島温泉の岬亭にて宿泊し、地元の海鮮料理を楽しみました。

翌日は、苓北コースのオープン日でもあり、多くの関係者（韓国の関係者）と一緒に歩きました。福岡城、白岩崎、頼山陽公園等を廻って、苓北温泉センターがゴールでした。天草・苓北コースは、福岡からは車で4時間程度かかり、アクセスが少し悪いですが、コースには自然や文化が数多く残っており参加者の方も大変喜んでおられました。なお、コース表示については、改善すべき箇所もあり、コース管理者に対応をお願いしています。



○ 九州オルレマスコミ・旅行社等招請（2月27日～3月2日：佐賀、熊本）

今年度新規認定した「天草・苓北コース」（熊本県）のオープンに伴い、韓国からマスコミ・旅行社等23社30名を招請しました。当日はあいにくの肌寒い天候ではありましたが、市長をはじめ多くの地元住民の方の参加と、韓国からのツアーや国内のモニターツアーなど100名ほどの参加もあり、華々しくオープンいたしました。今回の事業で参加した韓国のマスコミからは全国ニュースや記事などを通じて情報発信、旅行社からは新商品造成で九州のさらなる魅力をアピールしていただく予定です。



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 3月以降の主な事業

- ・2015早春九州オルレフェア（2月14日～3月1日：鹿児島、佐賀、福岡）
- ・「次は九州へ」空港プロモーション
（2月26日～3月1日：成田国際空港、3月12日～15日：羽田空港国際線旅客ターミナル）
- ・スポーツ振興大賞受賞（3月3日：東京）
- ・香港旅行会社招請事業（3月3日～8日：九州内）
- ・中国江蘇省教育関係者招請事業（3月5日～9日：長崎、佐賀、熊本、大分、宮崎）
- ・ジャパン・トラベル・フェア2015出展（3月6日～8日：ジャカルタ）
- ・「情熱祭り！まるごと九州～春の大観光展～」の開催（3月7日～8日：広島県安芸郡府中町）
- ・第3回運営協議会（3月17日：福岡市）
- ・九州アジア観光アイランド特区ガイドスキルアップセミナー（3月18日：福岡）
- ・シンガポール旅行社招請及び商談会開催（3月中旬：九州内）
- ・第4回理事会（3月26日：福岡市）

◇◇ お問い合わせ先 ◇◇

一般社団法人 九州観光推進機構 企画部 吉田
TEL:092-751-2943（代表）
092-751-2946（国内誘致推進部がイリン）
092-751-2947（海外誘致推進部がイリン）
FAX:092-751-2944
E-mail: infokiyushu@welcomekyushu.jp